

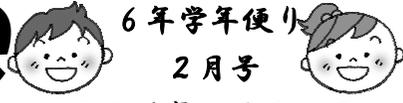
# SenSunshine

吹田市立千里第三小学校

6年学年便り

2月号

令和6年1月31日



## いよいよ、残り2か月

卒業の日が少しずつ近づいてきました。最後の小学校生活、残りの日々を大切に過ごしていきたいところです。

厳しい寒さが続いています。体調の悪化を防ぐために手洗いうがいをしっかりし、規則正しい生活を送れるよう心掛けてほしいと思います。

## 2月の行事予定

月	火	水	木	金
			1 火災避難訓練 (予備日)	2 1年研究授業 短縮5時間
5 一中入学説明会	6	7 ほんわかタイム クラブ	8	9
12 振替休日	13 全校集会	14 4時間授業 太陽の広場	15	16
19	20	21 太陽の広場	22 お別れ遠足	23 天皇誕生日
26	27 参観 6時間目 懇談会 15:30~	28 ほんわかタイム 委員会	29	

3月の主な行事予定

8日(金) 卒業生を送る会 18(月) 卒業式



国語：思い出を言葉に 今、私は、ぼくは 音楽：さよなら友よ 卒業式に向けて  
 家庭科：調理実習 理科：発電と電気の利用  
 家族や地域の一員として 自然とともに生きる  
 社会：地球規模の課題の解決と国際協力 図工：卒業制作  
 算数：算数のまとめ 算数で見つけた考え方 体育：ボール運動 体づくり運動  
 道徳：よりよい学校生活、集団生活の充実 外国語：将来の夢

### 家庭科



調理実習を2月に行います。鬼まんじゅうを作ります。アレルギーなどありましたら、お知らせください。詳細は先日配布しましたお手紙をご覧ください。

### 中学校入学説明会について

2月5日(月) 16:00~ 一中の体育館にて、中学校入学説明会を行います。

### お別れ遠足

- ◆日時 2月22日(金) 雨天決行
- ◆行先 姫路セントラルパーク
- ◆集合 7:50分までに教室
- ◆帰校 16:00ごろ

### ◆持ち物

- お弁当・水筒・しおり・ビニール袋
- 雨具(カッパ)・ハンカチ・ティッシュ
- 時計(班で一人)

しおりも合わせてご確認ください。(後日配布)

### 授業参観について

- ◆日時 27日(火) 参観 6時間目 懇談 15:30~

小学校最後の参観懇談となります。ぜひ、お越しください。

※授業内容は後日お知らせします。

### 学校徴収金について

振替日 1月31日(水) 振替金額 3,100円 教材費 2,500円+PTA会費 600円

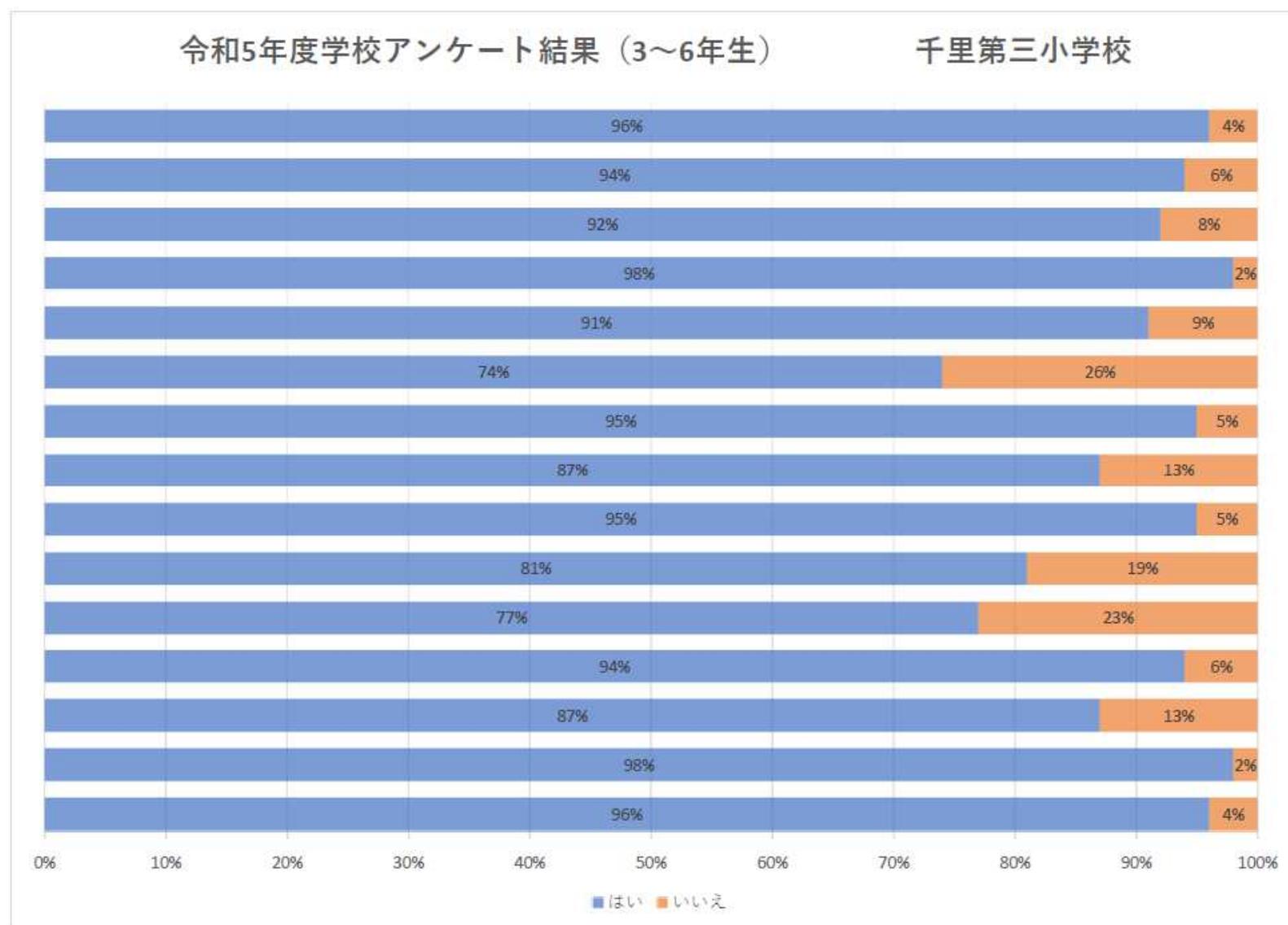
振替手数料については、手続きをされている金融機関によって異なります。

今年度最終期の振替にもなりますので、振替が可能であるよう、口座残高の確認をよろしくお願いいたします。

※裏面に児童用の学校アンケートの結果を載せています。ご確認ください。



1.学校へいくのが楽しい。
2.一緒に遊ぶ友だちがいる。
3.先生や友だちに元気よくあいさつをしている。
4.授業はわかりやすい。
5.授業や学級会で自分の意見をまとめたり、発表したりすることがある。
6.学校には、読みたい本やわからないことを調べる本がある。
7.先生は、学習で自分が努力したことを認めてくれる。
8.授業でわからないことなどについて、先生に質問しやすい。
9.先生は困っていること（いじめやなやみごと）について話を聞いてくれる。
10.学級の先生のほかにも、気軽に話したり相談できる先生がいる。
11.給食はすきだ。
12.地震や火災がおこった時、どうしたらよいかを教えてもらっている。
13.iPad を学習で積極的に使っている。
14.自分を大切にすることを学習することがある。
15.他人への思いやりを学習することがある。



「学校が楽しい」については、9割を超える子どもたちが肯定的な回答をしていました。今年度は、運動会や音楽発表会など多くの行事があり、子どもたちも充実感を得ることができた結果ではないかと考えられます。「一緒に遊ぶ友だちがいる」についても9割を超える子どもたちが肯定的な回答をしていました。子どもたち同士がつながりを持てるよう、地域や家庭の皆様が、見守り及びご協力をして頂いたこそその結果であると考えております。学校でも、子どもたちの友だち関係を今後も見守っていきたいと思います。

また、昨年度課題となっていた「先生や友だちに元気よくあいさつをしている。」については、肯定的回答が9割を超える結果となりました。生活委員会が朝のあいさつ運動に取り組むなど、子どもたちの取り組みの成果であるとも考えられます。学校としても、引き続き、元気よくあいさつできる環境作りに努めてまいります。

しかしながら、「学校には、読みたい本やわからないことを調べる本がある。」では、他の項目に比べてやや肯定的な回答が低い結果となりました。図書室の本だけでなく、吹田電子書籍の積極的な活用を子どもたちにも促していくとともに、子どもたちのニーズに合わせた本の選別も今後の課題として考えていけたらと思います。